

床材の美しさを長く保ち、ご愛用いただくために、下記のポイントにご留意ください。  
また、正しいお手入れも、床材を長持ちさせるポイントですので、よくお読みください。

(より美しく末永くお使いいただくためのご注意点です。)

## 1 熱や乾燥によるひび割れや目すきを起こしにくくするために。

### 1-1 直射日光

サッシまわりなど直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが生じるおそれがあります。カーテンやブラインドで直射日光が当たらないようにしてください。

### 1-2 エアコンなど

エアコンや強制排気型の暖房装置などを連続使用する場合は、床材の水分変化で、継ぎ目にすき間や表面にひび割れを生じますので、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45～70%です。

### 1-3 ホットカーペットなど

ホットカーペットや温風ヒーターなどをご使用の際は、目すき、表面ひび割れ、変色、フクレなどの原因となりますので、カーペットなどの下敷きをするなど、床表面に熱が伝わらないようにご使用ください。

木質材料のため温度・湿度により、床材の継ぎ目に隙間が生じることがあります。これは木材本来の性質によるものです。

※滑り止め機能付や滑り止め加工を施した製品(シート、カーペット、マット、ゴム等)をご使用になる時は、裏面材の成分が溶出して床材表面に付着したり、変色やつや変化を発生させるおそれがあります。

### 1-4 大型冷蔵庫など

大型冷蔵庫や温風ヒーターの熱風が床表面に直接当たらないようにしてください。

### 1-5 床暖房

床暖房ご使用の場合は、床暖房の取扱い説明書の使用上の注意事項をお守りください。使い方を誤ると低温やけどの原因になったり、床に釘を打ちこんだりすると事故や故障の原因となる場合があります。

床暖房運転時にカーペットなどで表面を覆うと、放熱が妨げられ暖房効率が悪くなったり、熱がこもって床材をいためやすくなりますので、何も敷かないでください。

木質材料のため温度・湿度により、床材の継ぎ目に隙間が生じることがあります。これは木材本来の性質によるものです。

## 日常のお手入れについて

- 日常のお手入れは乾いた布でカラ拭きしてください。砂粒など硬いごみが付着したままふくと床材の表面をキズつけるおそれがありますので、ご注意ください。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれぞうきんで拭き取ってください。汚れに応じて中性洗剤などを使用し、洗剤をきれいに拭き取ってください。
- ※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。
- 掃除機がけをする際は、掃除機のヘッドやブラシに硬いごみなどが付着したまま使用すると床材の表面を傷つけるおそれがあります。ご注意ください。
- シンナー等の溶剤は使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の場合は、ドライタイプをおすすめします。ウェットタイプは薬剤の種類によって表面の変色など不具合の原因になるおそれがあります。



## ワックスがけについて

- ノンワックス仕様の床材はワックスがけの必要はありません。お客さまのご都合でワックスがけされる場合は下記に準じてください。
- ワックスがけをされますと、表面がワックスの性能になり、本来の性能を損なう場合があります。
- ワックスはリンレイ社の『ハイクフローリングコート』をご使用ください。
- ご使用の際は、直接床にまかず、布などに染み込ませて薄くムラなく塗布してください。表面フクレなどの原因となります。



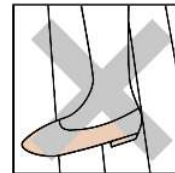
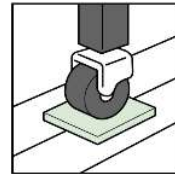
## 2 傷・へこみ・破損などを防ぐために。

### 2-1 ピアノなど

ピアノなどの重量物を置く場合は根太や下地の補強をした上で、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き重量を分散させてください。また、移動させる時は、引きずらないでください。

### 2-2 土足

上履用ですので土足でのご使用はお避けください。



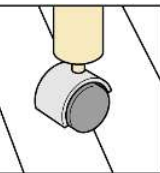
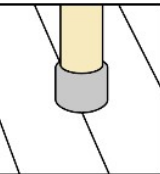
### 2-3 イスの足など

イスの足にゴムキャップやフェルトなどをつけると床表面の傷つきを防げます。  
※ゴム製の保護材は種類によって表面に色移りする場合があります。浸透して色移りすると除去できませんので、ご注意ください。

### 2-4 キャスター

キャスター付きのいすなどを繰り返しご使用になりますと、床表面を傷つけます。ご使用を避けるか、カーペット等を敷いてご使用ください。耐キャスター性を高めた床材もございますが、傷やへこみがつかないわけではありません。過度の荷重にはご注意ください。

※ 金属製や球形のキャスターはご使用をお避けください。傷やへこみが発生しやすくなります。  
※ 車イスの種類や重量・使用方法によっては、キズや汚れが生じる場合があります。  
※ 砂やゴミが車輪に付着したまま車イスを使用するとキズや汚れの原因になりますのでご注意ください。



## 3 シミ・フクレ・変色などを防ぐために。

### 3-1 水やしょう油、洗剤など

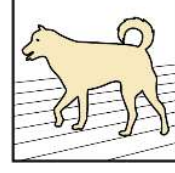
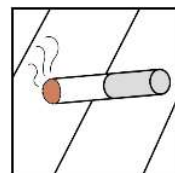
水やしょう油、洗剤などをこぼした場合は、すみやかに拭き取ってください。放置すると表面の色あせまたはシミ・カビによる黒ずみ・腐れ、フクレなどの原因になります。  
※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。

### 3-2 タバコ

火のついたタバコを落とした場合は、すぐに取り除いてください。こげ跡ののこります。

### 3-3 ペット

室内でペットを飼われる場合は、ペットのツメなどで床材の表面をキズつけるおそれがあります。ご注意ください。また、ペットの排泄物を放置しますと変色の原因となります。固く絞ったぬれぞうきんで、すぐに拭き取ってください。  
※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。  
ペットすべりに配慮した床材もございますが、すべてのペットの歩行に有効というわけではありません。



### 3-4 毛染め剤、靴墨など

毛染め剤、パーマ液、靴墨などの汚れはとれません。使用する場合には、必ず床の上にビニールなどのカバーをしてください。

### 3-5 観葉植物

観葉植物などの鉢には、必ず水受け用の皿などを敷いてご使用ください。

### 3-6 台所・洗面所周辺

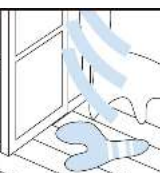
耐水性を高めた床材でも台所や洗面所周辺など、水廻りの場所ではマットを敷いて保護してください。

### 3-7 窓や掃き出しサッシ

窓や掃き出しサッシからの雨の吹き込みに注意してください。表面が濡れた場合は、すぐに拭き取ってください。

### 3-8 結露

結露による水滴などに注意してください。長期にわたり結露の水分が床に吸収されると、シミや波打ちが起こる場合があります。



## ホルムアルデヒドへの配慮をお願いします。

当社は商品から放散される化学物質の削減に努めていますが、日常的に通気や換気をこまめに行ってください。特に、新築住宅やリフォーム直後には十分な換気をお願いします。また、ホルムアルデヒドは高温になると多く放散される性質があります。夏場や長時間密閉した後は、特に気をつけてください。